福阜	2工業官	 5等専門学	交 開講年	度 令和02年度	(2020年度)	授業	科曰	 非量語コミ	ユニケーション		
		ו נונובאבאו	<u> </u>	<u>/文   13/1102                                   </u>	(2020+1)		111111	<u> </u>	<u> </u>		
<u>17日至1</u> 科目番号	足旧拟	0142			科目区分	市	PB / 1921				
<u>村白田与</u> 授業形態					単位の種別と単		専門 / 選択 履修単位: 1				
			フコミュニケーミ				程修中位: 1 4				
開設期が期が期に			<u> </u>	コーユーク クョンティー		2					
<del>加以加</del> 教科書/教	7**	日リ共の			週時間数						
担当教員	(42)	松江 色									
<sup>23 教長</sup> 到達目標	<del></del>	1A/IL  2	ζ								
①非言語: ②心理学(	- コミュニ の基礎を	ケーションの 理解し、円滑 係についての	基礎的な理論を理 な人間関係を図る 知識を習得する。	理解する。 3能力を身につけるこ	ことができる。						
ルーブリ	Jック										
			理想的な到	理想的な到達レベルの目安標準的な到達		 レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1			1 1/2/12/20	<u> </u>	13.1 - 3.0.2322	D: 000019		7112322	7707		
平価項目2											
評価項目3											
		票項目との	 関係		L			II.			
学習・教育			IV) IVI								
		山'床 (ロ <i>)</i>									
教育方法	ム守			、たついての甘び***	<b>1+\I田=△ ナ</b> , T田Aカ ! っ	なわれの中で	· c =	キフもたぎこ			
既要		非言語  この科	コミユニケーンヨ 目は、企業経験の	」ンについての基礎的 のある教員が事例をも	Jな埋論を埋解し、そ Sとにコミュニケーシ	これを現実に ションの課題	₋心用です を具体的	きる刀を奪つ。 内な事例を交え	て授業を行う。		
受業の進む	め方・方			<u>いに授業を進める。</u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		20/11/	70.7 1/10/2/	<u> </u>		
主意点					)きっかけにすぎない	1。関連する	記事や記	書籍を自身で記	問べることを心がける		
受業計画	斬										
週			授業内容			週ごとの到達目標					
前期		1週	非言語の世界1			主な非言語チャネルとその機能1					
		2週	非言語の世界2			主な非言語チャネルとその機能 2					
		3週	自己表現技法1			プレゼンテーションの目的 Win-winの心理学的視点					
		4週	自己表現技法 2			アサーション、ダブルバインド					
	1stQ	5週	自己実現1			態度変容、デシジョンメーカー					
		6週	自己実現2			印象形成 対人認知における歪みと個人差					
		7週	自己実現3			帰属におけるエラーとバイアス					
		8週	自尊感情			社会的比較理論 セルフディスクレパンシー理論					
		9週	援助行動			傍観者効果、責任の分散 多数の無知、評価懸念					
		L				多数の無犯	<u>u,                                    </u>	説得的コミュニケーション			
		10週	態度と感情					ーション			
		10週 11週	態度と感情 対人行動				ミュニケ				
	2ndO					説得的コニョ 自己開示、	ミュニケ 援助行		集団間差別		
	2ndQ	11週	対人行動	D影響 1		説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニ	ミュニケ 援助行 ナミクス	動、攻撃			
	2ndQ	11週	対人行動 集団と個人			説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニ	ミュニケ 援助行 ナミクス 说、議題	動、攻撃 、ジレンマ、 設定効果、培			
	2ndQ	11週 12週 13週	対人行動 集団と個人 マスメディアの			説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニョー 複合影響語	ミュニケ 援助行 ナミクス 说、議題 旋、第三	動、攻撃 、ジレンマ、 設定効果、培 者効果			
	2ndQ	11週 12週 13週 14週	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの	D影響 2		説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニ 複合影響語 沈黙の螺旋 合意性過2	ミュニケ 援助行 ナミクス 说、議題 旋、第三 大視効果	動、攻撃 、ジレンマ、 設定効果、培 者効果	養効果		
モデル		11週 12週 13週 14週 15週 16週	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習したる	D影響 2 ことの総括		説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニ 複合影響語 沈黙の螺旋 合意性過2	ミュニケ 援助行 ナミクス 说、議題 旋、第三 大視効果	動、攻撃 、ジレンマ、: 設定効果、培 者効果	養効果		
		11週 12週 13週 14週 15週 16週	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習したこ の学習内容と3	D影響 2 ことの総括 到達目標	目標	説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニ 複合影響語 沈黙の螺旋 合意性過2	ミュニケ 援助行 ナミクス 说、議題 旋、第三 大視効果	動、攻撃 、ジレンマ、: 設定効果、培 者効果 用紙の返却と	養効果		
分類	コアカリ	11週 12週 13週 14週 15週 16週 リキュラム	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習したこ の学習内容と3	D影響 2 ことの総括 到達目標	目標	説得的コニョー 自己開示、 集団ダイニ 複合影響語 沈黙の螺旋 合意性過2	ミュニケ 援助行 ナミクス 说、議題 旋、第三 大視効果	動、攻撃 、ジレンマ、: 設定効果、培 者効果 用紙の返却と	養効果 解説		
分類	      コアカリ	11週 12週 13週 14週 15週 16週 リキュラム 分野	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習したこ の学習内容と3 学習内容	D影響 2 ことの総括 到達目標   学習内容の到達	1	説得的コニョー 自己開示、集団ダイニ複合影響語 沈黙の螺加合意性過ご前期期末記	ミュニケ 援助行フ ナミクス 説、第三 た、親効果 大視効解答	動、攻撃 、ジレンマ、記 設定効果、培 者効果 用紙の返却と 到	養効果 解説 達レベル 授業週		
分類 評価割合	               	11週 12週 13週 14週 15週 16週 ノキュラム 分野	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習したこ の学習内容と3 学習内容と3	D影響 2 ことの総括 <b>到達目標</b> 学習内容の到達 相互評価	態度	説得的コニ 自己開示、 集団ダイニ 複合影響 沈黙の螺が 合意性過 前期期末記	ミュニケ 援助行フ ナミクス 説、第三 た、親効果 大視効解答	動、攻撃 、ジレンマ、: 設定効果、培 者効果 用紙の返却と 型	養効果 解説  達レベル   授業週   合計		
分類 評 <b>価割</b> 合 総合評価	コアカリ	11週 12週 13週 14週 15週 16週 リキュラム 分野 試験 60	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習した。 の学習内容と3 学習内容 発表 40	D影響 2 ことの総括 <b>到達目標</b> 学習内容の到達 相互評価 0	態度 0	説得的コニ 自己開示、 集団ダイニ 複合影響 沈黙の螺が 合意性過 前期期末記	ミュニケ 援助行フ ナミクス 説、第三 た、親効果 大視効解答	動、攻撃 、ジレンマ、注 設定効果、培 者効果 用紙の返却と 到 その他 0	養効果 解説 達レベル 授業週 合計 100		
モデルニ 分類 評価割る 総合評価 基礎的能 専門的能	コアカ! コアカ! 含 割合	11週 12週 13週 14週 15週 16週 ノキュラム 分野	対人行動 集団と個人 マスメディアの マスメディアの 世論と流言 前期学習したこ の学習内容と3 学習内容と3	D影響 2 ことの総括 <b>到達目標</b> 学習内容の到達 相互評価	態度	説得的コニ 自己開示、 集団ダイニ 複合影響 沈黙の螺が 合意性過 前期期末記	ミュニケ 援助行フ ナミクス 説、第三 た、親効果 大視効解答	動、攻撃 、ジレンマ、: 設定効果、培 者効果 用紙の返却と 型	養効果 解説 達レベル 授業週 合計		